

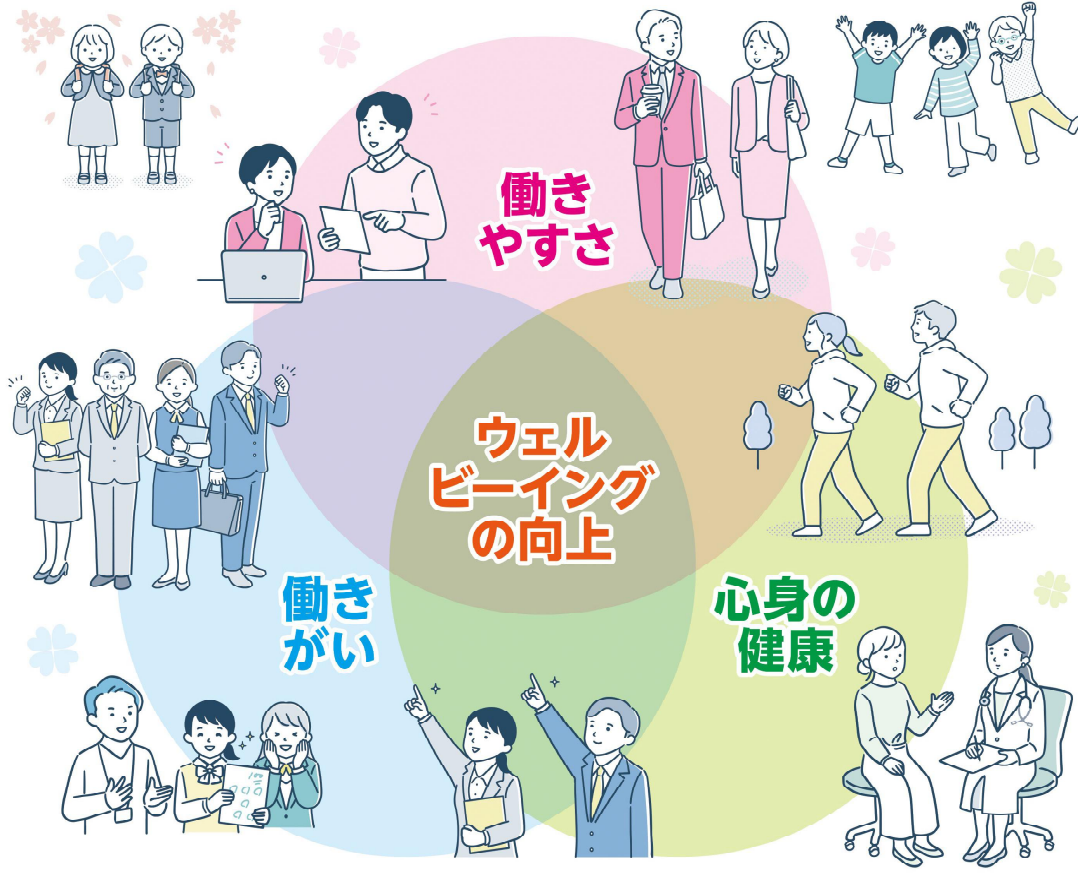
いよいよ3年目!

『チームと対話』で働き方改革を推進!!

学校における働き方改革の実現! 誰一人取り残されない 持続可能な沖縄の発展



学校における働き方改革が実現すれば、「学校が人をつくり、人が地域をつくり、地域が学校をつくる」というサイクルの中で、質の高い学校教育が行われ、沖縄の未来である子供たちが地域の担い手となり、その人材が「誰一人取り残されない社会」、沖縄らしい優しい社会を実現します。これは、「持続可能な沖縄の発展」につながるものであり、新・沖縄21世紀ビジョンの実現でもあります。



『チームと対話』で連携・協働

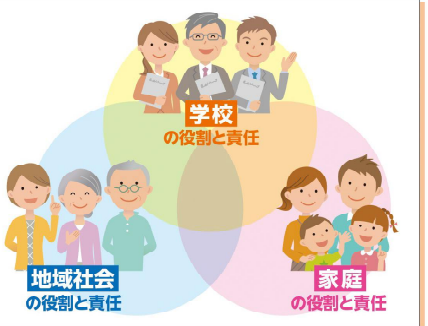
- それぞれの役割と責任を、お互いに
- 理解・尊重する
- 率直に意見を伝え合う
- それぞれの「強み」を発揮する

※学校における働き方改革に、特効薬はない。

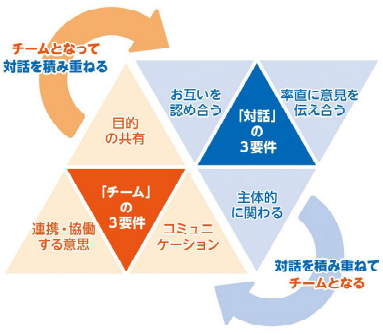
解決に時間を要する取組も進めながら… ⇒ やれることから取り組む!

※学校だけ・教育委員会だけで完結しない。

それぞれの立場で各々の役割・責任にもとづいて ⇒ 自分事として取り組む!



『チームと対話』とは 『チームと対話』の3要件



全ての関係者が連携・協働する「チーム」となり、働き方改革の取組に一人一人が主体的に関わり、お互いに認め合い、率直に意見を伝え合うこと、「対話」による、子供たちの教育環境の充実が大切です。

「チームと対話」を通じて、子供たち一人一人の豊かな学びを実現し、子供たちへのより良い教育を目指していきましょう!



お願い 地域や保護者のご協力が不可欠です

一緒に参加しませんか? / 学校ボランティアの一例

※ご協力いただきたいこと

- コミュニティ・スクールなどを通じ、学校運営への参画
- 学校以外が担うべき業務の役割分担の見直しへのご協力 (登下校の見守り、学校ボランティアへの応募など)
- 学校行事や業務の見直しへのご理解

- ・部活動の支援
- ・給食時、休み時間の児童生徒の見守り
- ・授業準備のサポート (学習プリント印刷等)
- ・式典等の運営リポート (会場設営等事前準備)
- ・校内清掃、水やり等の対応



誰もが子供の学びのサポーター!
みんなで「地域とともにある学校づくり」を!!

『学校における働き方改革』の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることや教職員の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすることです。

取組期間	初年度評価・検証		中間年度評価・検証		最終年度評価・検証	
	スケジュール	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和8年度(2026年度)	令和8年度(2026年度)
本プラン	集中取組期間 (3年)					



令和8(2026)年3月 沖縄県教育委員会

みんなの学校!ピースフル・プラン(全体版)はこちら

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>

